

男性運転士用制服のリニューアルについて

2003年8月25日

JR 東日本は、昨年 12 月 1 日より、駅社員、車掌等が着用する男性接客用制服をリニューアルしましたが、男性運転士用制服についても、今年 9 月の盛夏服から夏服への切替時期に合わせて一新します。

新男性運転士用制服の色については、新男性接客用制服と同様に、これまでの紺色からグレーを基調とした色としましたが、運転士としての識別を図るため、エンブレムや襟のラインなどのアクセントと同じアンティークゴールド色の運転士章を新たに着用することとしました。

1 コンセプト

(新男性接客用制服をはじめとする全ての服種に共通のコンセプトです。)

21世紀にふさわしく、従来の制服とは一新したものであること

「さわやかな対応」を表現する制服であること

「堅実」「信頼」「安心」を醸成しつつ、清潔で好感の持てる制服であること

着てみたくなるような制服であること

2 開発の主なポイント

現行の男性運転士用制服と同様に、上衣の両胸に各 1 個のポケットを配しましたが、それ以外の仕様(色、デザイン、素材など)については、全て新男性接客用制服と同一となっています。

< デザイン開発 >

スーツ型を基本とし、現行の運転士用制服にある背中ของプリーツをなくし、より活動性が高い逆三角形のセミソフトシルエットを採用しました。

色は清潔で好感が持たれ、制服イメージを一新したものとするため、格調・品格があり、かつ親近感のあるグレー系を基調色としました。

色彩は冬服から夏服、そして盛夏服と切り替わるにつれて濃い色から淡い色へ変化し、季節に合ったカラーイメージを表現しました。

開発にあたっては、機能性などについて着用する社員の意見を盛り込んで最終デザインを決定しました。

< 冬服・夏服 >

冬服はチャコールグレー、夏服はグレーをベースにアンティークゴールド色のエンブレムをアクセントとし、ネクタイを含めたトータルコーディネートでデザインされています。

< 盛夏服 >

グレー地に白のストライプ柄を 2 種類使ったシャツスタイルです。

< エンブレム >

アクセントと識別性を向上させるために、胸と袖にエンブレムをつけました。

< ネクタイ >

夏冬用と盛夏用のネクタイを作りました。

< 運転士章 >

運転士としての識別および右胸のエンブレムとのバランスを図るため、アンティークゴールド色で運転士章を作成しました。

3 今後の予定

リニューアルした新男性接客用制服をベースとして、女性接客用、女性運転士用、技術用等、全職にわたる制服のリニューアルに順次取り組む予定です。

運転士用制服(夏服)



運転士章

